

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		6年度	5年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合を含む	28,268	26,851	1,417	5.0
消防費歳出総額(b)		1,242	1,138	104	8.4
(b)/(a)%		4.4	4.2		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合を除く	27,929	26,544	1,385	5.0
消防費歳出総額(d)		1,030	939	91	8.8
(d)/(c)%		3.7	3.5		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、いすみ市（8.1%）が最も高く、次いで酒々井町（7.5%）となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における令和6年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、いすみ市（50,111円）が最も高く、次いで芝山町（46,145円）、旭市（37,880円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、芝山町（130,760円）が最も高く、次いでいすみ市（122,850円）、旭市（101,601円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		02	03	04	05	06
1世帯あたり	組合一部事務を含む	40,384	40,074	39,274	39,968	42,992
住民1人あたり		17,897	17,814	17,618	18,165	19,813
1世帯あたり	組合一部事務を除く	33,685	33,174	32,270	32,979	35,628
住民1人あたり		14,929	14,747	14,477	14,988	16,419

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は57%である。

令和6年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

